北上市

根津鋼材（東京）と立地調印

来月から物流倉庫操業

鋼板加工販売の根津鋼材（東京都荒川区、資本金4500万円、根津訓光（くにみつ）社長）と北上市は2日、同市芳町の市役所で立地協定調印式を行った。

高橋敏彦市長、根津社長、十良沢（じゅうりょうさわ）福志県ものづくり自動車産業振興室企業立地推進担当課長、高橋穏至市議会議長らが出席。高橋市長と根津社長が調印した。根津社長は「地域に根ざし産業発展に貢献したい」とあいさつ。高橋市長が「この地を拠点として一層の発展を願う」と歓迎した。

握手をする（左から）高橋穏至市議会議長、高橋敏彦市長、根津訓光社長、十良沢福志県ものづくり自動車産業振興室企業立地推進担当課長

同社は、同市相去町の北上産業業務団地の敷地3462平方㍍に地上約10㍍、延べ床面積1390平方㍍の鉄筋平屋建て物流倉庫を建設。来年1月5日に操業を始める。従業員は同市の岩手営業所の2人のほか、3人を新規雇用し計5人体制になる。

同社は1937年創業、従業員139人、2016年8月期決算の売上高は107億円。98年に岩手営業所を開設し、宮城県北部と北東北3県に約100社の取引先がある。物流拠点の完成で北東北エリアの短納期、小ロットサービスの向上を図るとともに、福島県の須賀川、長沼両工場から配送する従業員の拘束時間を減らす狙いがある。